

首都圏在住者から見た
中国地方の観光地の実態と魅力度

報告書

平成 29 年 3 月

中国経済連合会

目 次

| | |
|----------------------|-----------|
| 1. 調査概要 | 1 |
| 1) 調査目的 | 1 |
| 2) 調査手法及びサンプル数..... | 1 |
| 3) 観光エリアの設定..... | 2 |
| 2. 調査結果 | 4 |
| 1) 回答者属性 | 4 |
| 2) 訪問経験 | 5 |
| 3) 満足度 | 9 |
| 4) 交通手段 | 13 |
| 5) 訪問希望地 | 14 |
| 6) 中国地方への旅行..... | 19 |
| 7) 中国地方の名称 | 20 |
| 8) 中国地方のイメージ..... | 21 |
| 9) 中国地方の特産品..... | 24 |
| 10) 周遊ルート | 25 |
| 3. まとめ | 27 |

1. 調査概要

1) 調査目的

○中国経済連合会は、中国地方の観光地に対する認識や評価について、ウェブアンケート調査を実施している。平成 24 年度には首都圏在住者を対象に、平成 25 年度には関西圏在住者を対象に、平成 26 年度には九州圏在住者を対象に、平成 27 年度には四国圏在住者を対象に調査を実施した。

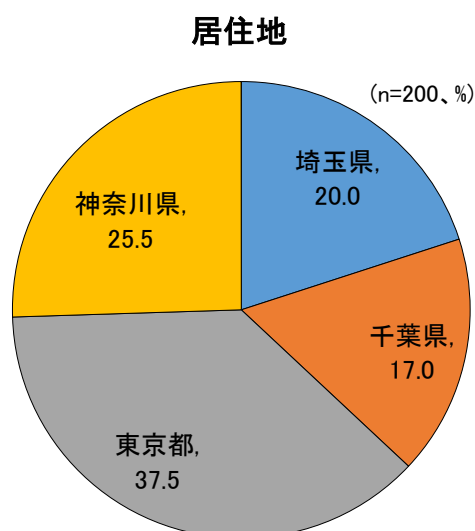
○今回は、首都圏在住者の中国地方の観光地に対する認識及び評価を把握するため、平成 28 年 12 月に楽天リサーチに委託し、ウェブアンケート調査を実施した。回答者は首都圏（埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県）の 4 県）在住者であり、合計で 200 名である。

2) 調査手法及びサンプル数

- ・実施日 : 平成 28 年 12 月 21 日～22 日
- ・調査手法 : インターネット調査（楽天リサーチ）により実施
- ・サンプル数 : 首都圏 200 件

| 居住地 | サンプル数 | 構成比(%) |
|------|-------|--------|
| 埼玉県 | 40 | 20.0 |
| 千葉県 | 34 | 17.0 |
| 東京都 | 75 | 37.5 |
| 神奈川県 | 51 | 25.5 |
| 計 | 200 | 100.0 |

※各都県の人口構成比に基づきサンプルを取得している。



【前回調査】首都圏調査（平成 24 年度）

- ・実施日 : 2012 年 9 月 6 日～7 日
- ・調査手法 : インターネット調査（楽天リサーチ）により実施
- ・サンプル数 : 首都圏 125 件

※以降、「前回調査結果」「平成 24 年度調査結果」は上記 125 サンプルの調査結果を示す。

3) 観光エリアの設定

- ・既存の調査と同様に、中国5県の観光動態調査で設定されているエリアをベースとして、観光入込客数の多い観光エリアを中心に、各県10エリア程度を設定した。
- ・観光エリアのイメージや内容をわかりやすくするため、観光エリアの名称だけでなく、そこに含まれる代表的観光資源について3つ程度付記した。

観光エリア及び代表的観光資源

| | |
|------------------------------|--------------------------------------|
| 鳥 取 県 | 1. 鳥取 (鳥取砂丘、浦富海岸、仁風閣など) |
| | 2. 智頭 (石谷家住宅、若桜鉄道、氷ノ山など) |
| | 3. 倉吉 (白壁土蔵の町並み、三徳山三仏寺など) |
| | 4. 三朝温泉 |
| | 5. 羽合 (羽合温泉、東郷温泉、燕趙園など) |
| | 6. 北栄 (コナン通り、青山剛昌ふるさと館など) |
| | 7. 大山 (大山、スキー場、植田正治写真美術館、とっとり花回廊など) |
| | 8. 米子 (皆生温泉など) |
| | 9. 境港 (水木しげるロード(記念館)など) |
| 島 根 県 | 10. 松江 (松江城、小泉八雲旧居、堀川巡り、宍道湖の夕日など) |
| | 11. 玉造温泉 |
| | 12. 出雲 (出雲大社、一畑薬師、島根ワイナリー、日御碕灯台など) |
| | 13. 奥出雲 (鬼の舌震、亀嵩温泉、絲原記念館 (たたら製鉄) など) |
| | 14. 安来 (足立美術館、清水寺など) |
| | 15. 石見銀山 (石見銀山、三瓶山、温泉津温泉など) |
| | 16. 浜田 (石見海浜公園、アクアス (水族館) など) |
| | 17. 邑南 (香木の森公園、瑞穂ハイランド (スキー場) など) |
| | 18. 津和野・益田 (太鼓谷稲成神社、安野光雅美術館、雪舟庭園など) |
| 19. 隠岐 (隠岐国分寺、玉若酢命神社、知夫赤壁など) | |
| 岡 山 県 | 20. 岡山 (後樂園、岡山城など) |
| | 21. 吉備路 (吉備津神社、備中国分寺など) |
| | 22. 倉敷 (美観地区、大原美術館など) |
| | 23. 児島・玉野 (鷺羽山、瀬戸大橋架橋記念館、下津井、渋川海岸など) |
| | 24. 備前 (閑谷学校、備前焼、日生諸島など) |
| | 25. 牛窓 (牛窓オリーブ園、海水浴場など) |
| | 26. 高梁 (備中松山城、吹屋ふるさと村など) |
| | 27. 津山 (新庄がいせん桜、城東の町並みなど) |
| | 28. 蒜山高原 |
| 29. 美作三湯 (湯原温泉、奥津温泉、湯郷温泉) | |

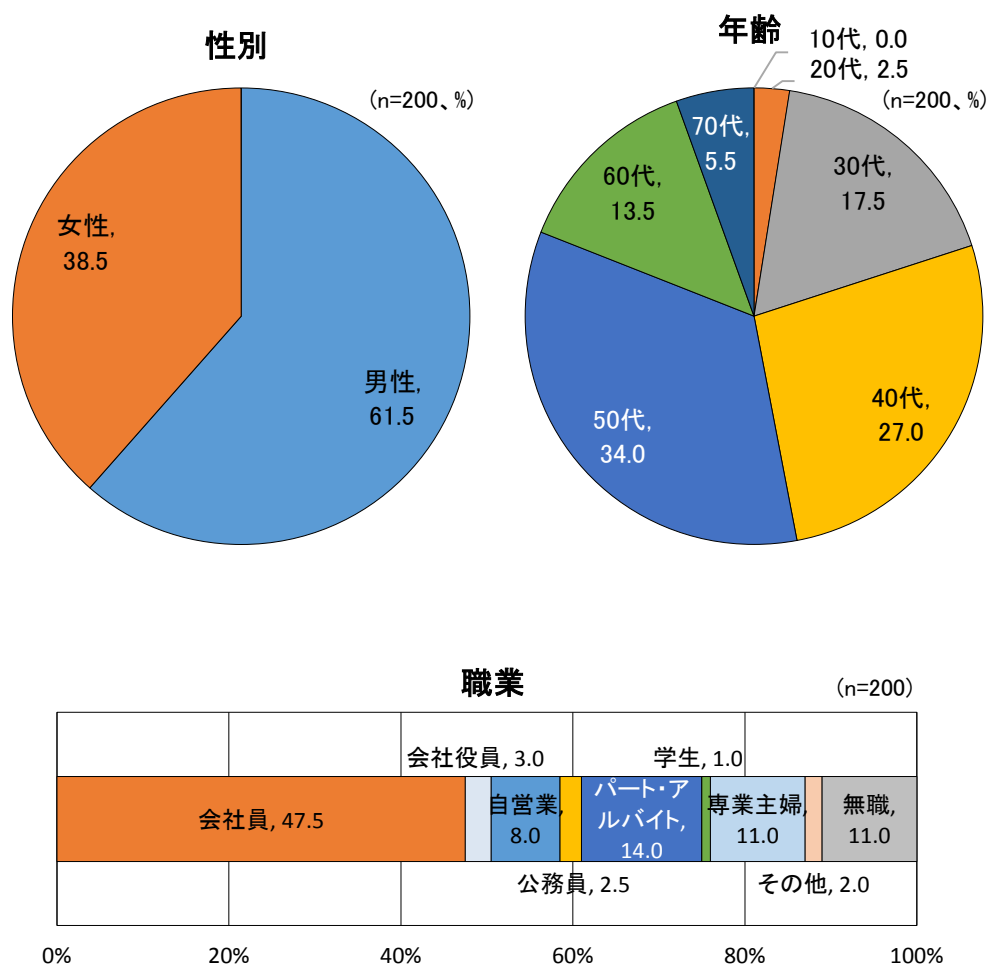
| | |
|-----|---|
| 広島県 | 30. 広島（平和公園、原爆ドーム、お好み村など） |
| | 31. 宮島（厳島神社、弥山、みやじマリン（水族館）など） |
| | 32. 呉・江田島（大和ミュージアム、旧海軍兵学校など） |
| | 33. 竹原（町並み保存地区、大久野島など） |
| | 34. 尾道（千光寺公園、社寺巡り、映画ロケ地など） |
| | 35. しまなみ海道（耕三寺、平山郁夫美術館など） |
| | 36. 福山（鞆の浦、ばら公園、ふくやま美術館など） |
| | 37. 三次・庄原（三次ワイナリー、帝釈峡、国営備北丘陵公園、奥田元宋・小由女美術館など） |
| | 38. 安芸高田（土師ダム、神楽門前湯治村など） |
| | 39. 芸北（三段峡、温井ダム、スキー場など） |
| 山口県 | 40. 下関（海峡ゆめタワー、海響館（水族館）、唐戸市場、赤間神宮など） |
| | 41. 山口（サビエル記念聖堂、湯田温泉、雪舟庭、瑠璃光寺五重塔など） |
| | 42. 秋吉台・秋芳洞 |
| | 43. 萩（松下村塾、松蔭神社、萩博物館など） |
| | 44. 長門（湯本温泉、青海島、金子みすゞ記念館、角島大橋など） |
| | 45. 宇部・山陽小野田（ときわ公園、焼野海岸、産業観光など） |
| | 46. 防府（防府天満宮、周防国分寺、毛利庭園など） |
| | 47. 周南・下松・光（笠戸島、回天記念館、室積海岸、虹が浜など） |
| | 48. 柳井・周防大島（白壁の町並み、片添ヶ浜など海水浴場、サザンセットなど） |
| | 49. 岩国（錦帯橋、岩国城、白蛇、美川ムーバレーなど） |

2. 調査結果

※以降の調査結果におけるグラフ数値は小数第二位を四捨五入したものである。

1) 回答者属性

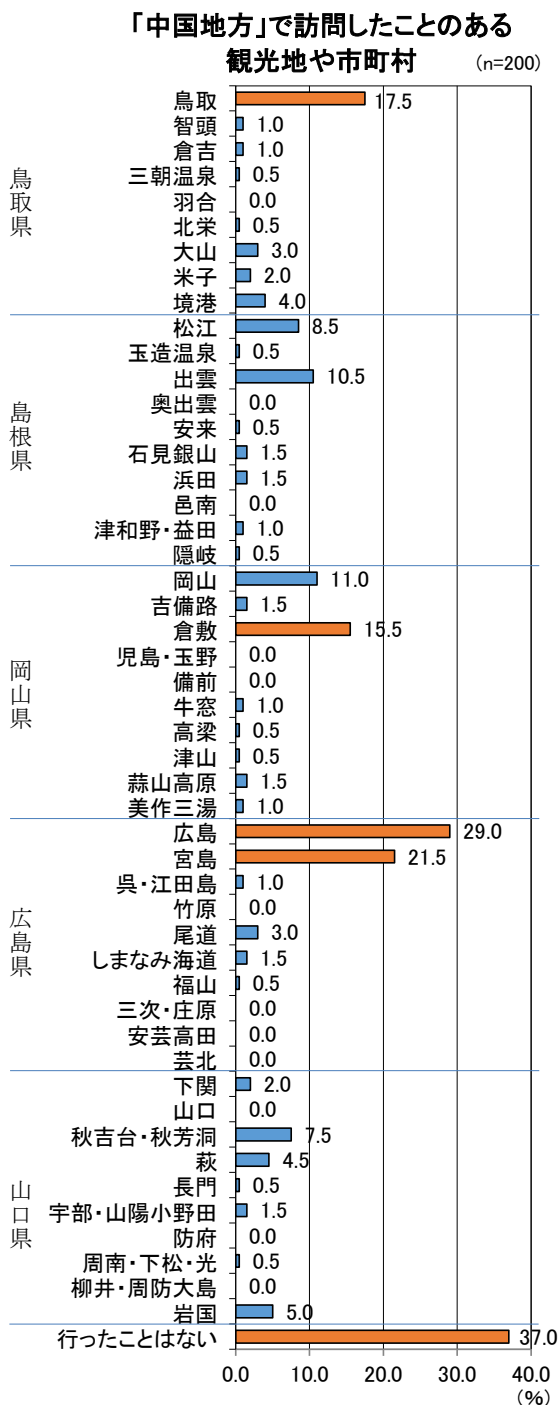
回答者の属性として、性別では男性が61.5%、年代は40代～50代が全体の61.0%を占めている。職業は会社員が47.5%と最も多く、次いでパート・アルバイト14.0%となっている。



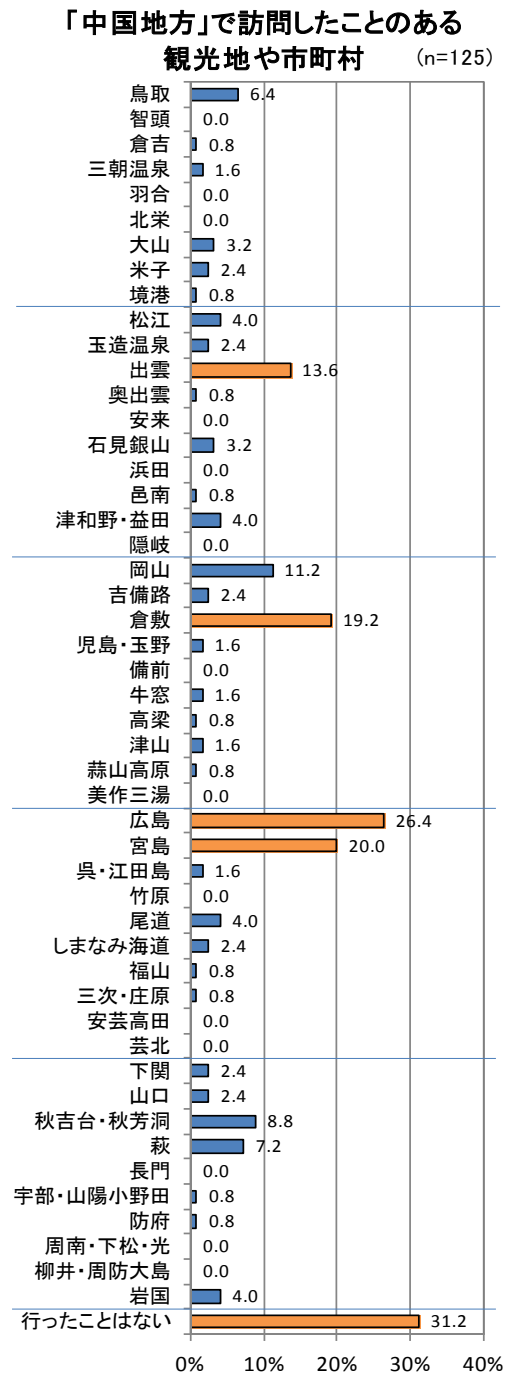
2) 訪問経験

(1) 観光エリア別・全体集計

中国地方を49の観光エリアに分け、訪問したことのある観光地や市町村を3箇所まで聞いたところ、訪問した人が多かったのは広島(29.0%)、宮島(21.5%)であり、前回(平成24年度調査)と比較して訪問割合は増えている。次いで鳥取(17.5%)の割合が多く、前回より大幅増となっている。また、「行ったことはない」が前回より約5ポイント増となっている。

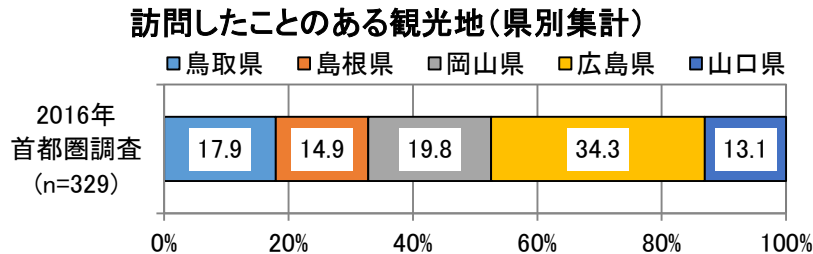


(参考: 首都圏調査結果(平成24年度))



(2) 訪問県別集計

訪問したことがある観光地の回答を県ごとに合計したところ、広島県が 34.3%と最も多く、次いで岡山県 19.8%、鳥取県 17.9%の順となっている。



(3) 観光エリア別・居住県別集計

居住県別にみた場合、世界遺産を有する広島、宮島が各県とも上位に挙げられており、中国地方を代表する主要観光エリアとして高く認知されていることが伺える。また、鳥取は千葉県で2位、他の3県で4位に入るなど、訪問率が高くなっている。島根県、山口県の観光エリアは上位には挙げられておらず、埼玉県で秋吉台・秋芳洞が4位となっているのみとなっている。

居住県別訪問経験(上位5位)

(%)

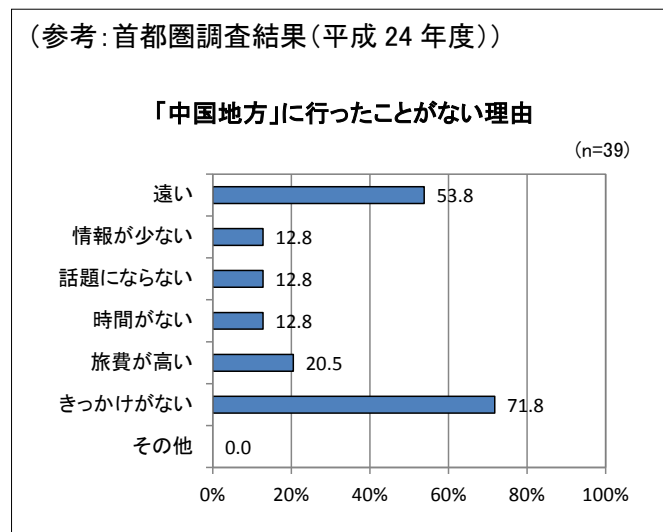
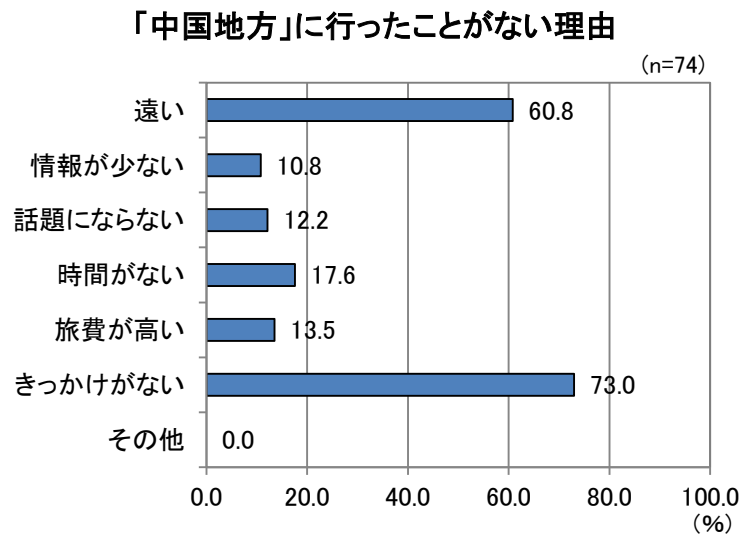
| 首都圏全体 (n=200) | 埼玉県 (n=40) | 千葉県 (n=34) | 東京都 (n=75) | 神奈川県 (n=51) |
|--------------------|-----------------------------------|------------------------------|--------------------|--------------------|
| 1位: 行ったことはない(37.0) | 1位: 行ったことはない(37.5) | 1位: 行ったことはない(47.1) | 1位: 行ったことはない(38.7) | 1位: 広島(35.3) |
| 2位: 広島(29.0) | 2位: 広島(35.0) | 2位: 鳥取(17.6) | 2位: 広島(26.7) | 2位: 宮島(29.4) |
| 3位: 宮島(21.5) | 3位: 宮島(25.0) | 2位: 広島(17.6) | 3位: 宮島(18.7) | 3位: 行ったことはない(27.5) |
| 4位: 鳥取(17.5) | 4位: 鳥取(12.5) | 4位: 倉敷(14.7) | 4位: 鳥取(17.3) | 4位: 鳥取(21.6) |
| 5位: 倉敷(15.5) | 4位: 倉敷(12.5) 4位: 秋吉台・秋芳洞(12.5) | 5位: 岡山(11.8) 5位: 宮島(11.8) | 5位: 倉敷(14.7) | 4位: 岡山(21.6) |

居住県別訪問経験



(4) 未訪問理由

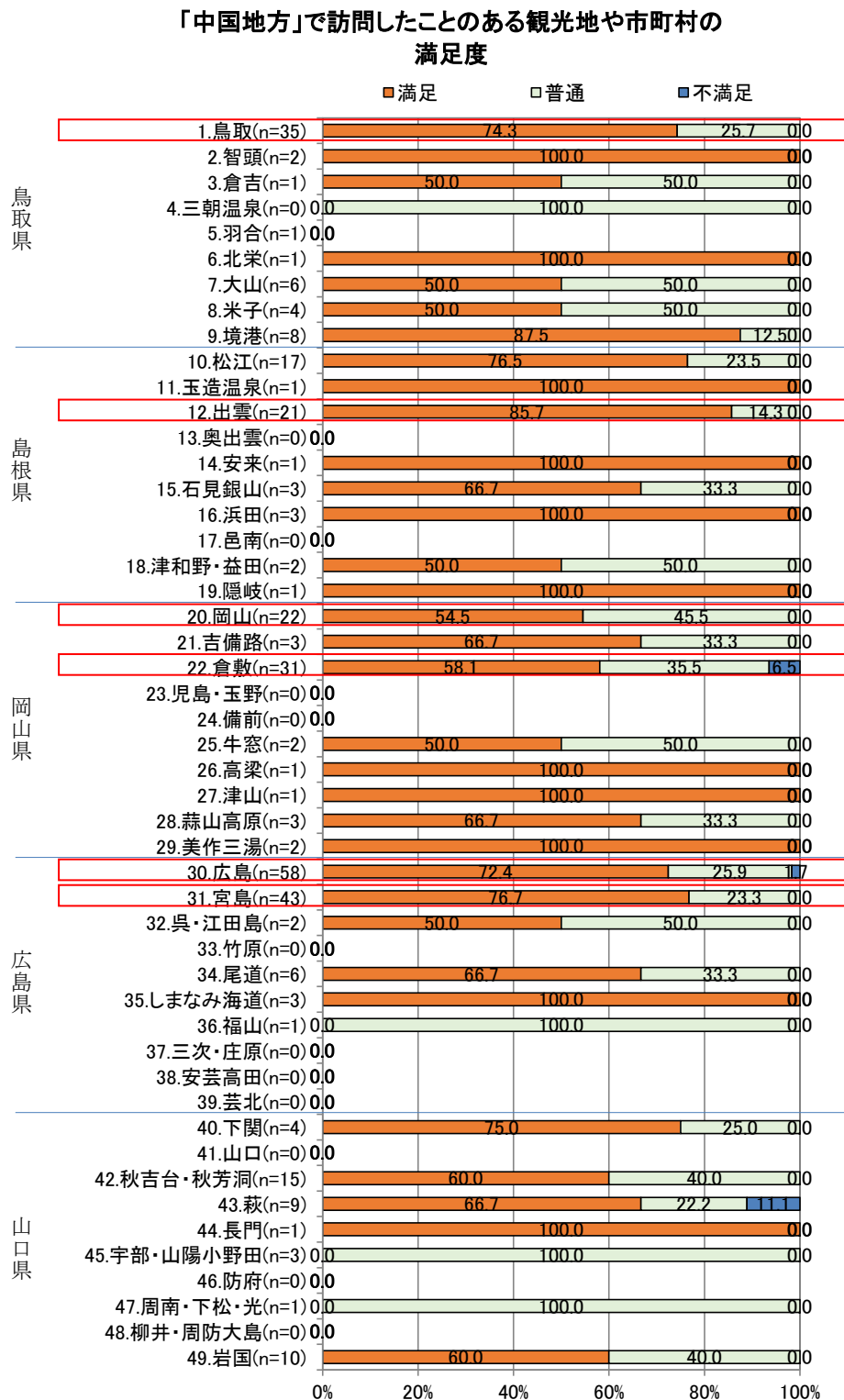
本調査において中国地方に行ったことがない人は37.0%（74人）であったが、それらの回答者に対しその理由を聞いたところ、「きっかけがない」との回答が73.0%と最も多く、次いで「遠い」（60.8%）が挙げられるなど、前回と同様の結果となっている。



3) 満足度

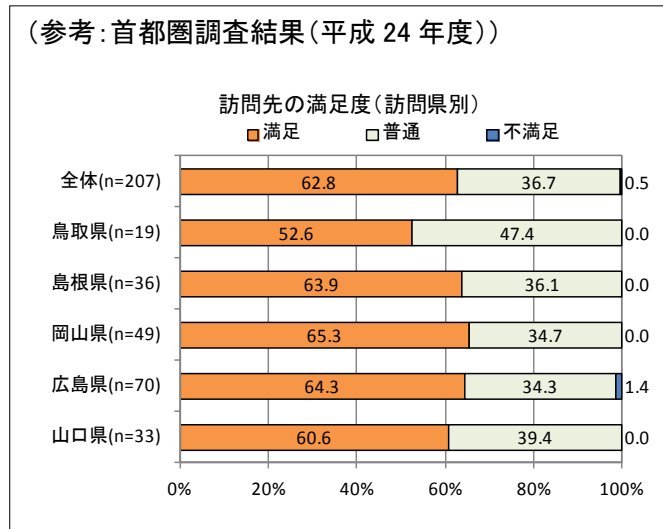
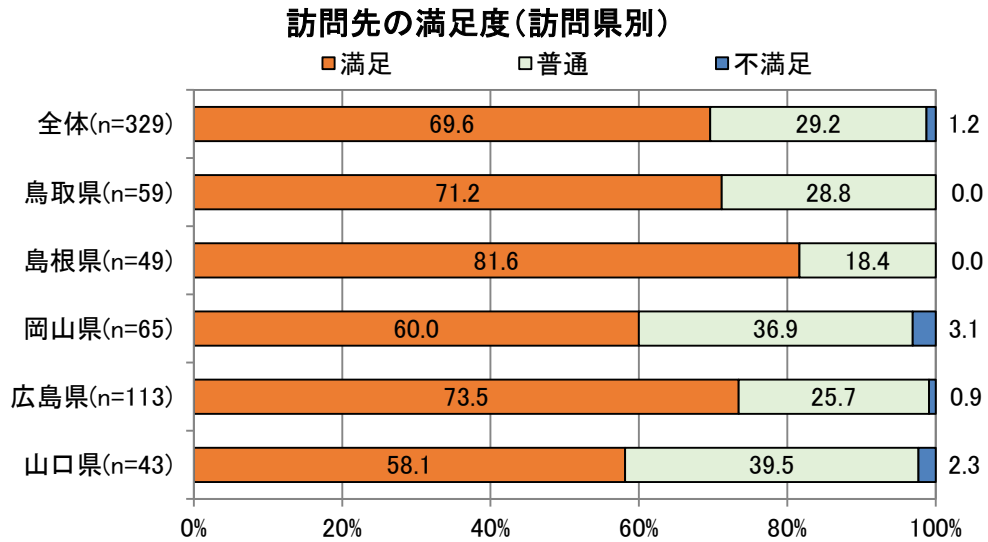
(1) 観光エリア別・全体集計

訪問したことのある観光地や市町村に対する満足度を聞いたところ、以下のような結果となった。訪問経験者の多い地域（サンプル20名以上、以下赤枠囲み部分）の「満足」の割合に着目すると、満足度1位は出雲（85.7%）となっており、その他、宮島、鳥取、広島
の順で70%以上と高くなっているのに対し、岡山は54.5%、倉敷は58.1%にとどまっている。



(2) 訪問県別集計

上記の各地の満足度を集計したところ、全体の「満足」は 69.6%と高く、「不満足」は 1.2%と少ない。訪問県別にみると、各県とも「満足」という評価が過半数となっているが、トップの島根県と岡山県・山口県では 20%以上の開きがあり、前回と比べ、県ごとに満足度の差がみられる。

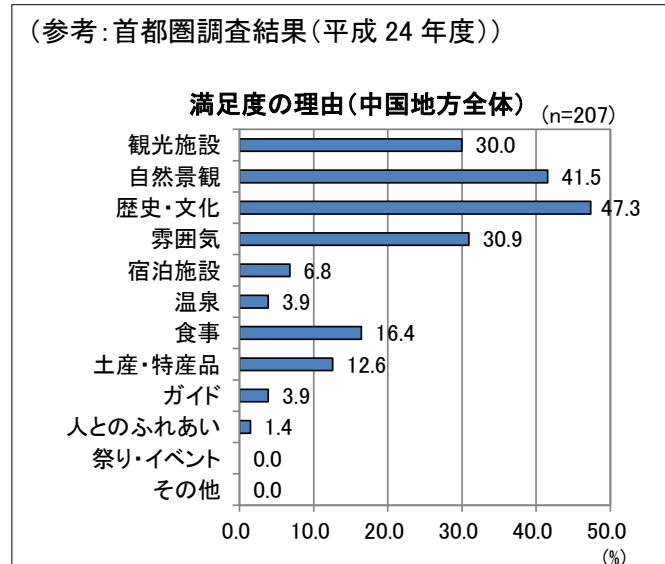
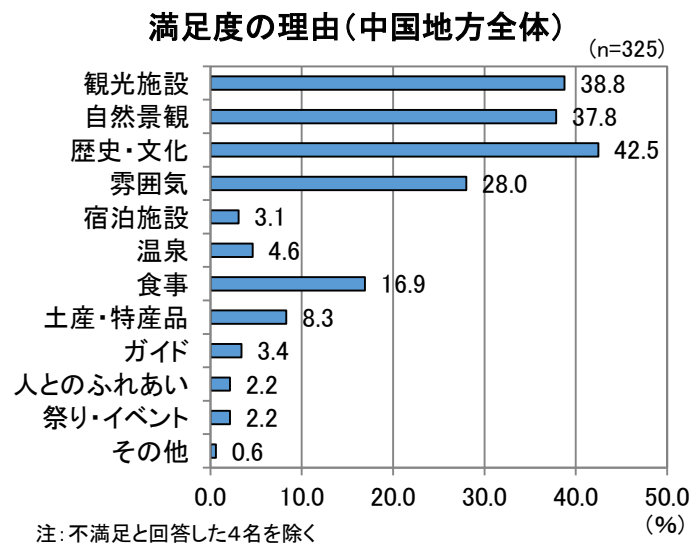


(3) 満足度の理由

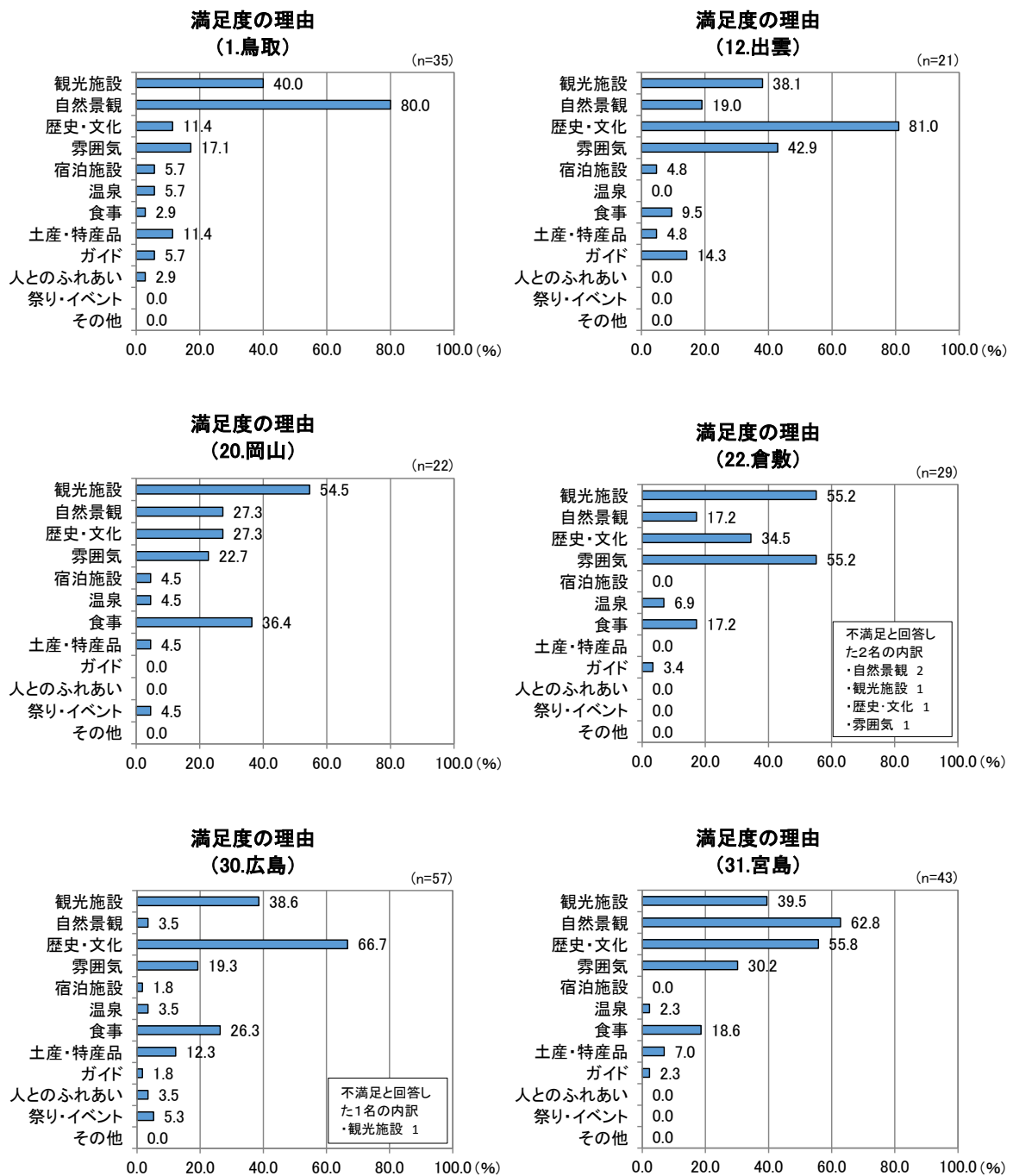
前問の満足度評価で「満足」または「普通」と回答した理由をみると、中国地方全体としては「歴史・文化」が42.5%と最も高く、次いで「観光施設」38.8%、「自然景観」37.8%となっている。前回と比較すると「観光施設」が8.8ポイント増と増加している。

首都圏からみた中国地方のセールスポイントの最大要素として「歴史・文化」が挙げられ、次いで観光施設、自然景観、雰囲気といった要素を含め中国地方の観光の魅力が形成されていることがわかる。

温泉、ガイドなどの回答は5%未満にとどまっており、一層の充実が求められる。



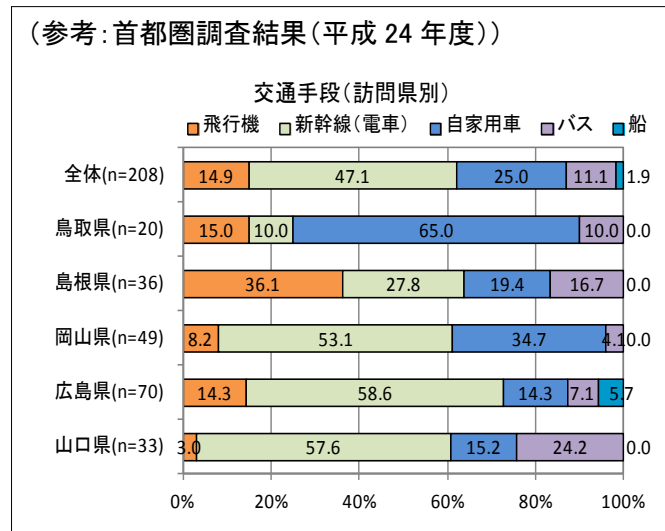
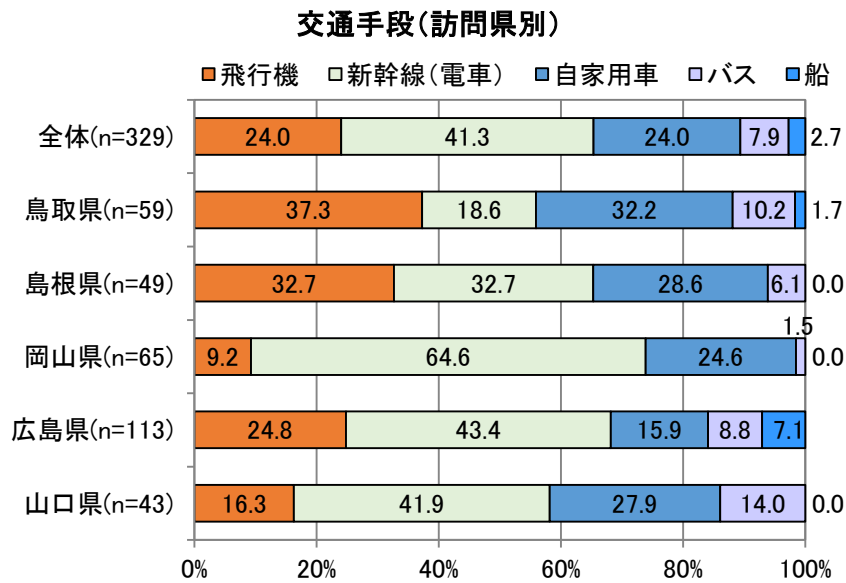
訪問経験者の多い地域（サンプル20名以上）について、それぞれ「満足」または「普通」と回答した人の理由は以下のとおりである（「不満足」の回答があった場合はグラフ内に付記している）。鳥取、宮島の「自然景観」、出雲、広島「歴史・文化」、岡山、倉敷の「観光施設」など、各地域の特色が挙げられている。また、岡山の満足度の理由として「食事」が観光施設に次いで評価されている点も特徴である。



4) 交通手段

中国地方に訪問したことがある人の主な交通手段をみると、「新幹線（電車）」が41.3%と最も多く、次いで「飛行機」「自家用車」が24.0%となっている。訪問県別にみると、鳥取県では「飛行機」の割合が37.3%となりトップ、岡山県では「新幹線（電車）」が64.6%と他県に比べて多いことなどが特徴となっている。

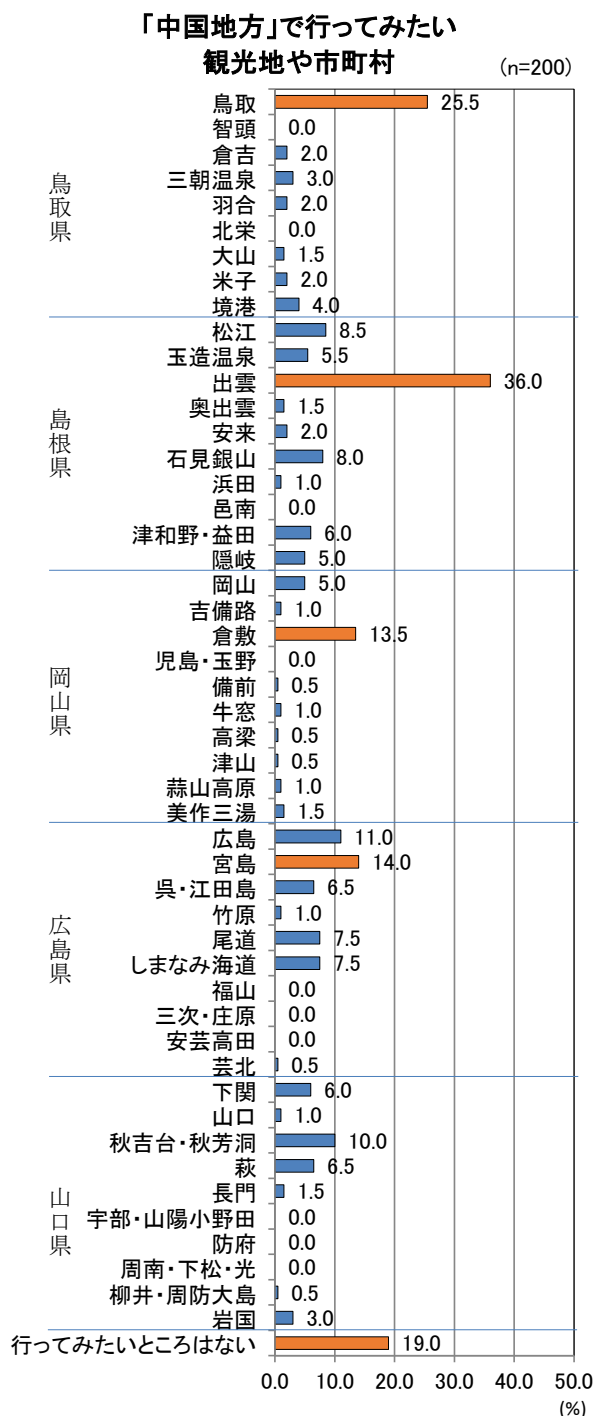
前回調査と比較すると、鳥取県の飛行機利用の増加に伴い、全体の飛行機利用の割合が9ポイント増となっている。



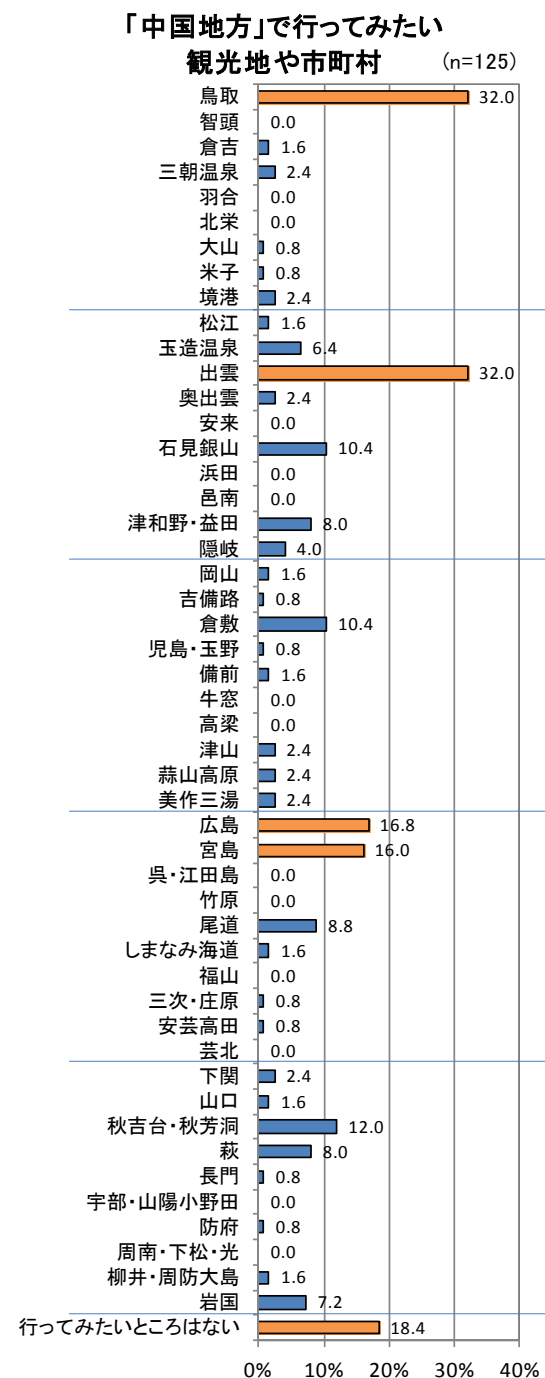
5) 訪問希望地

(1) 観光エリア別・全体集計

中国地方を49の観光エリアに分け、訪問してみたい観光地や市町村を3箇所まで聞いたところ、最も多かったのは出雲(36.0%)であり、次いで鳥取(25.5%)、「行ってみたいところはない」(19.0%)となっている。上位は前回と同様であり、その他、訪問率の最も高い広島は前回より約6ポイント減少したのに対し、松江、呉・江田島は6ポイント以上増えている。

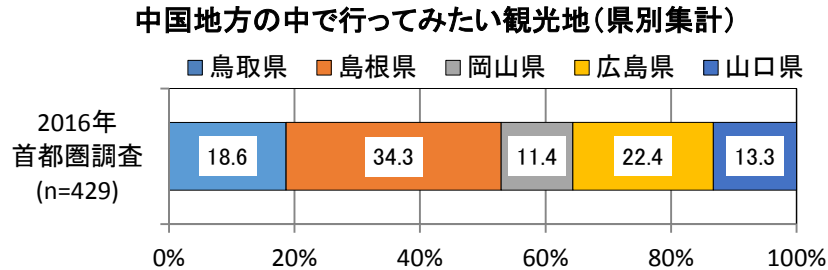


(参考:首都圏調査結果(平成24年度))



(2) 訪問県別集計

訪問希望地を県別にみると、島根県が34.3%と最も多く、次いで広島県22.4%、鳥取県18.6%となっており、山陰地方への訪問希望が高くなっている。



(3) 観光エリア別・居住県別集計

訪問希望地を居住県別にみた場合、出雲が埼玉県で2位、他3県で1位となっている。出雲大社の「平成の大遷宮」は平成25年であったが、依然として訪問希望が多くなっている。埼玉県では「行ってみたいところはない」が35.0%と高くなっている。

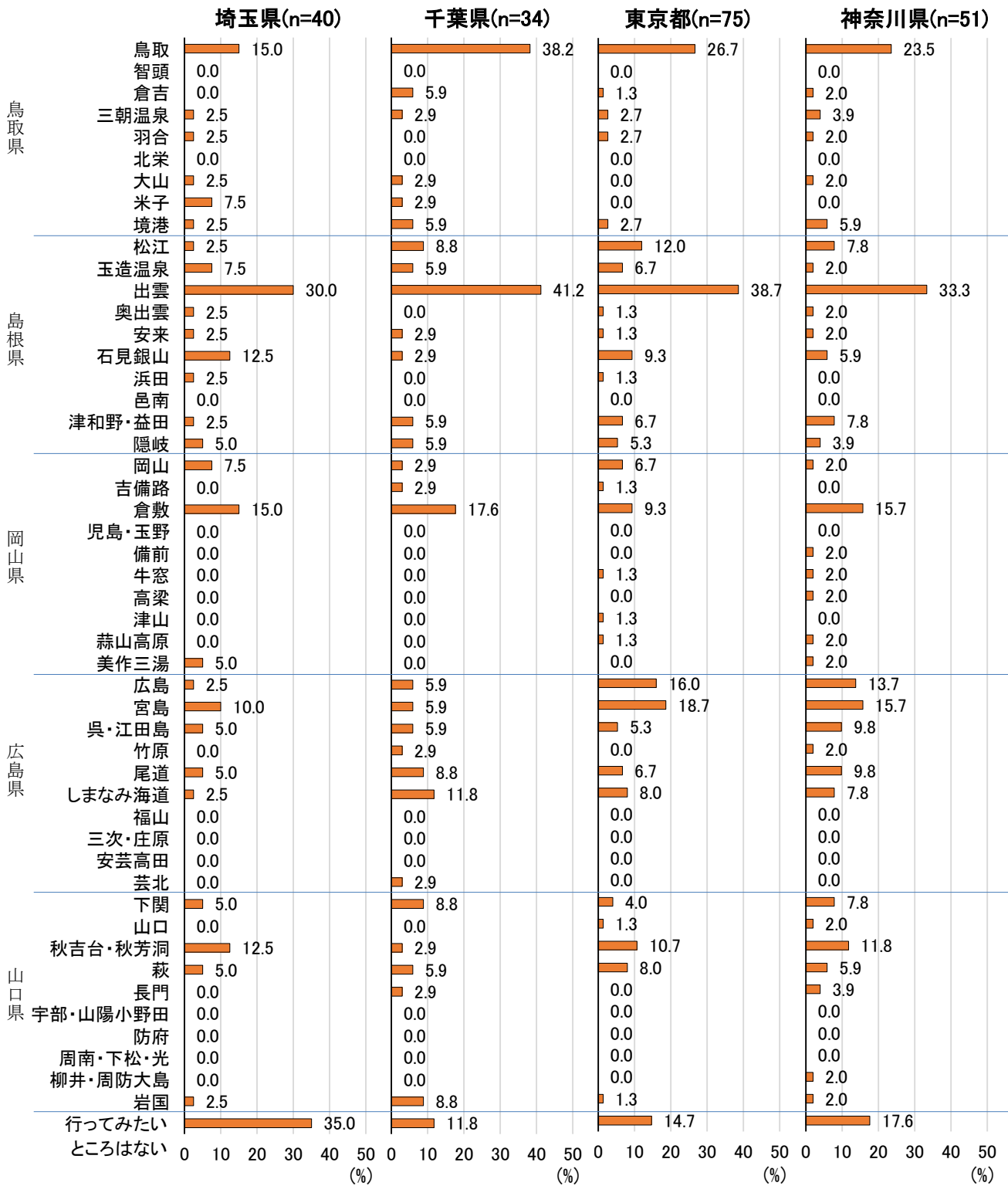
他の上位地域をみると、鳥取は埼玉県で2位、他3県で2位と各県とも上位に挙げられている。また、首都圏全体で5位の倉敷は、埼玉県、千葉県、神奈川県で3～4位（東京都は8位）と安定した評価となっている。宮島は東京都、神奈川県で上位に挙げられているが、埼玉県、千葉県では7位となっており、県によって差異がみられる。

また、「行ってみたいところはない」が全ての県で上位に挙げられている。

| 首都圏全体 (n=200) | 埼玉県 (n=40) | 千葉県 (n=34) | 東京都 (n=75) | 神奈川県 (n=51) |
|---------------------------|---------------------------------|---------------------------|---------------------------|---------------------------|
| 1位：出雲 (36.0) | 1位：行ってみたいところはない (35.0) | 1位：出雲 (41.2) | 1位：出雲 (38.7) | 1位：出雲 (33.3) |
| 2位：鳥取 (25.5) | 2位：出雲 (30.0) | 2位：鳥取 (38.2) | 2位：鳥取 (26.7) | 2位：鳥取 (23.5) |
| 3位：行ってみたいところはない (19.0) | 3位：鳥取 (15.0) | 3位：倉敷 (17.6) | 3位：宮島 (18.7) | 3位：行ってみたいところはない (15.4) |
| 4位：宮島 (14.0) | 3位：倉敷 (15.0) | 4位：しまなみ海道 (11.8) | 4位：広島 (16.0) | 4位：倉敷 (15.7) |
| 5位：倉敷 (13.5) | 5位：石見銀山 5位：秋吉台・秋芳洞 (12.5) | 4位：行ってみたいところはない (11.8) | 4位：行ってみたいところはない (11.8) | 4位：宮島 (15.7) |

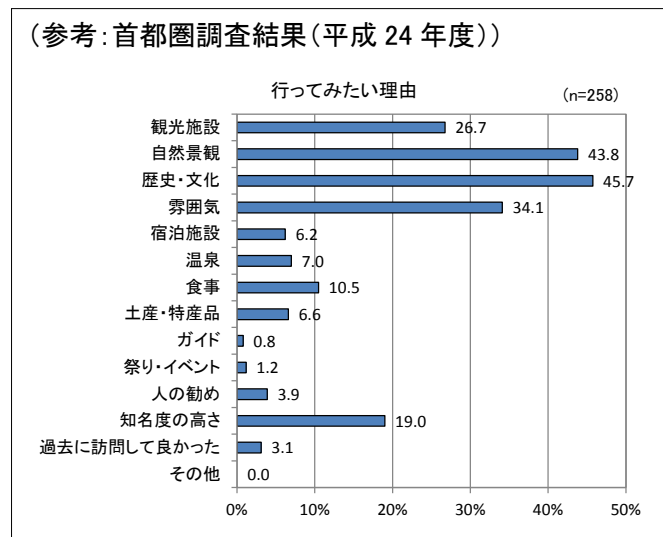
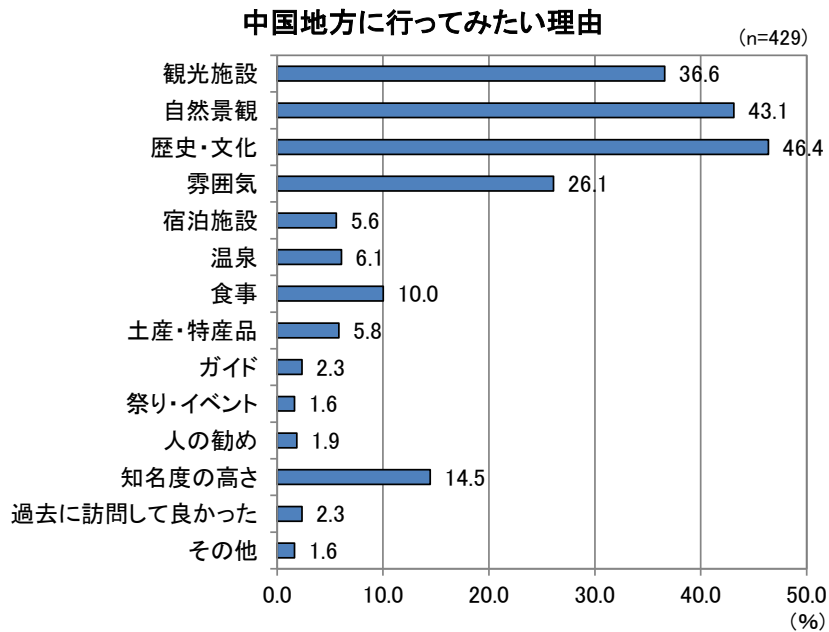
※カッコ内は割合 (%)

訪問希望率（居住県別）



(4) 訪問希望の理由

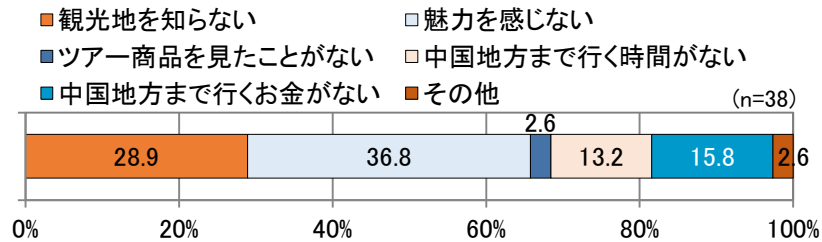
中国地方の各観光地（県）に行ってみたい理由としては「歴史・文化」が46.4%と最も多くなっている。次いで「自然景観」「観光施設」「雰囲気」の割合が高く、上位4要素が中国地方の観光の魅力とイメージを形成しているといえる。中でも「観光施設」は前回から1割高くなっている。宿泊施設、温泉、食事、土産・特産品、ガイド、祭り・イベント等は上位4要素よりも低く、今後のイメージ強化が必要である。



(5) 訪問希望が無い理由

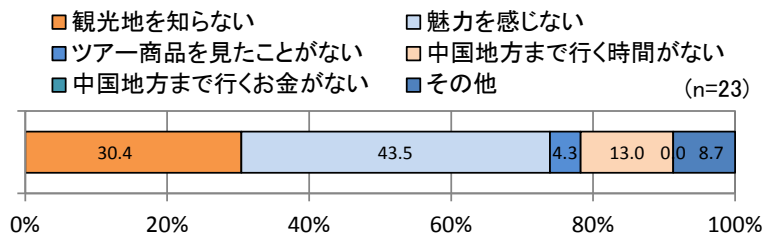
「行ってみたいところがない」と回答した人は 38 件であり、その理由を聞いたところ、「魅力を感じない」が 36.8%、「観光地を知らない」が 28.9%となっており、前回と同様、上位に挙げられている。次いで、前は 0%であった「中国地方まで行くお金がない」が 15.8%と高くなっている。

「中国地方」の観光地や市町村に行ってみたいところがない理由



(参考: 首都圏調査結果(平成 24 年度))

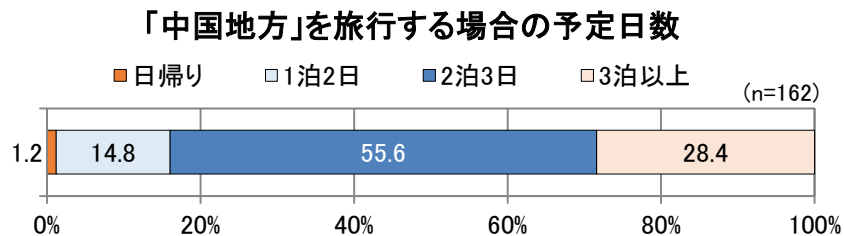
「中国地方」の観光地や市町村に行ってみたいところがない理由



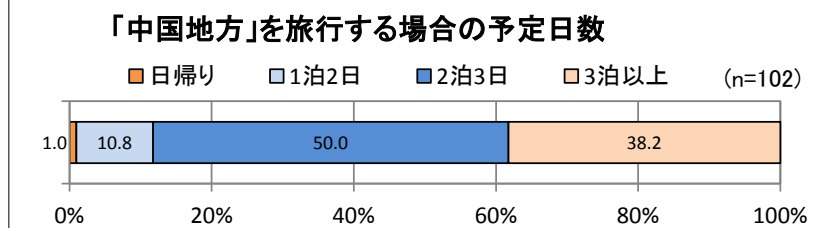
6) 中国地方への旅行

(1) 予定日数

中国地方を旅行する場合の予定日数は、「2泊3日」が55.6%と最も多く全体の半数以上を占め、「3泊以上」と合わせ全体の8割以上が2泊以上を希望している。



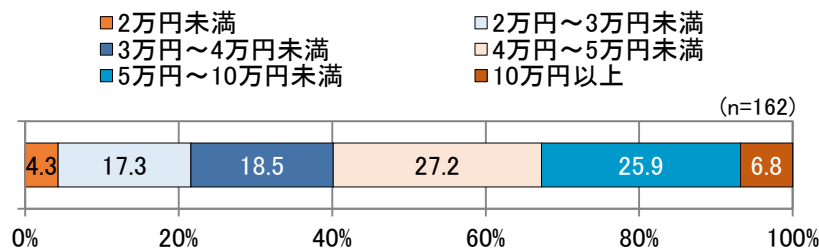
(参考: 首都圏調査結果(平成24年度))



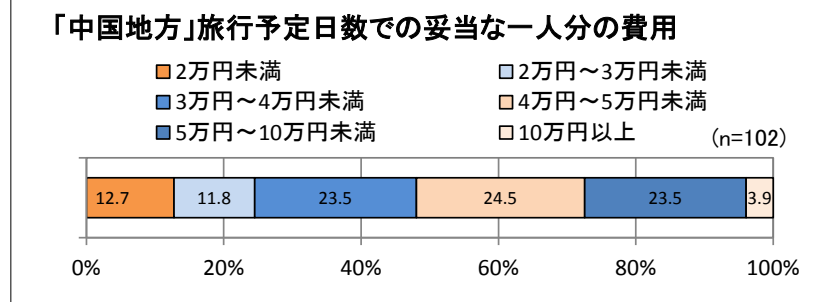
(2) 費用

中国地方を旅行する場合の費用は、「4～5万円」が27.2%、「5～10万円」が25.9%と多くなっている。「2万円未満」は最も少なく、4.3%にとどまる。

「中国地方」旅行予定日数での妥当な一人分の費用

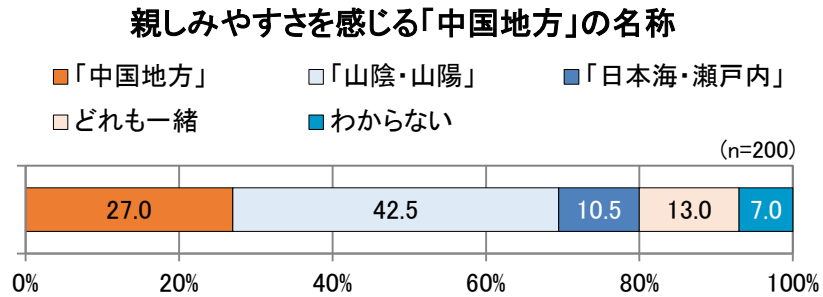


(参考: 首都圏調査結果(平成24年度))

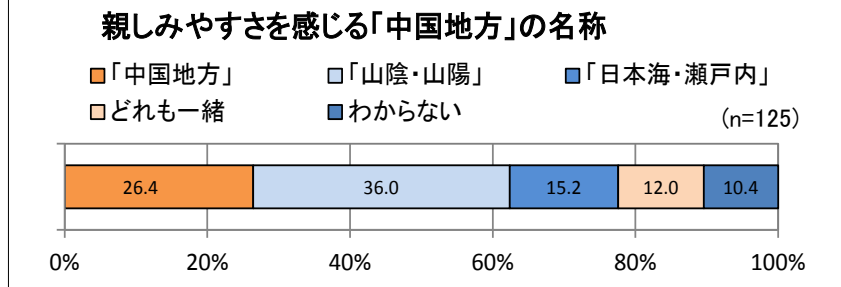


7) 中国地方の名称

親しみやすさを感じる中国地方の名称を聞いたところ「山陰・山陽」が最も多く、4割以上を占めている。



(参考: 首都圏調査結果(平成 24 年度))



8) 中国地方のイメージ

中国地方のイメージについて自由に記載して頂いたところ、自然豊かなイメージが多く、その他、穏やかな田舎、山陰と山陽で異なるイメージ、歴史的といった記載が多かった。

<自然が多いイメージ（自然が豊富・海がきれい等）> 18件

| | | |
|-------------------|-----|----|
| 海がきれい | 40代 | 男性 |
| 海がきれいで新鮮な魚介類が豊富そう | 50代 | 女性 |
| 海が綺麗、食べ物が美味しい | 30代 | 男性 |
| 海と山(コントラスト) | 70代 | 男性 |
| 海と山の両方がある | 40代 | 女性 |
| 景観のうつくしさ。 | 60代 | 男性 |
| 景観を楽しめそう | 60代 | 女性 |
| 山が多そう | 30代 | 男性 |
| 山と海が近い | 40代 | 男性 |
| 自然が豊か | 50代 | 男性 |
| 自然が豊か。 | 30代 | 男性 |
| 自然が豊富 | 50代 | 男性 |
| 自然が豊富 | 40代 | 男性 |
| 自然が良さそう | 30代 | 女性 |
| 自然と歴史の調和がある | 50代 | 男性 |
| 自然豊か | 60代 | 男性 |
| 瀬戸内海 | 50代 | 女性 |
| 瀬戸内海 | 50代 | 男性 |

<穏やかな田舎というイメージ> 11件

| | | |
|----------------|-----|----|
| のんびりできる | 30代 | 女性 |
| 穏やか | 50代 | 男性 |
| 穏やかな空気感 | 50代 | 女性 |
| 懐かしい | 70代 | 女性 |
| 時間がゆっくり過ぎてゆく | 40代 | 女性 |
| 素朴 | 50代 | 女性 |
| 素朴な感じ | 50代 | 女性 |
| 地味だけど、見どころが多そう | 40代 | 女性 |
| 地味だけど魅力が満載 | 30代 | 女性 |
| 田舎 | 30代 | 女性 |
| 田舎 | 40代 | 男性 |

<山陰と山陽でのイメージの違い> 10件

| | | |
|---|-----|----|
| のんびり、のほほんといった感じ。瀬戸内は島々にわたりたい。 山陰は歴史を感じる。 | 50代 | 男性 |
| 岡山県は観光したい場所、行ってみたいところが無い 山陰、特に鳥取県から出雲大社までは5度ほど訪問したことがある 山口県は観光地の変化が大きくて楽しい 広島県も大好きな場所で何度も訪問したことがある | 60代 | 男性 |
| 砂丘以外のイメージなし | 40代 | 男性 |
| 山陰と山陽での気候、風土の違いが対照的。 歴史的な史跡、建造物などが多い。 | 60代 | 男性 |
| 山陰のほうは、海の幸のイメージ。歴史のイメージ。 | 40代 | 女性 |
| 縦断すると変化があって面白そうです。自然の豊かさを満喫したい。 | 60代 | 女性 |
| 世界遺産を含め、歴史・文化的名所が多い。 日本海側は魚介類がおいしい。 | 70代 | 男性 |
| 瀬戸内海がのどか、山陰の自然 | 40代 | 男性 |
| 地域が狭いのに各県にそれぞれの特徴がある | 40代 | 男性 |
| 日本海側に面している | 50代 | 女性 |

<歴史的なイメージ> 10件

| | | |
|---------------------------|-----|----|
| 日本の国造り神話や近代日本の開花期 | 50代 | 男性 |
| 毛利元就 | 30代 | 男性 |
| 歴史ある土地などが多く、それをうまく引き継いでいる | 50代 | 男性 |
| 歴史がある | 50代 | 男性 |
| 歴史のあるところ | 30代 | 男性 |
| 歴史を感じる | 50代 | 男性 |
| 歴史を感じる | 70代 | 男性 |
| 歴史的に興味あるところが多い | 60代 | 男性 |
| 歴史的観光に向いている | 50代 | 男性 |
| 歴史的建造物が多い | 30代 | 女性 |

<アクセスに関する内容> 7件

| | | |
|---|-----|----|
| 遠い | 40代 | 女性 |
| 遠い | 30代 | 女性 |
| 遠い。まとまった休みがあれば長期車中泊で回りたい。良さそうなところはあるが、2泊程度が限度の現状だと、行きづらい地域。 | 50代 | 男性 |
| 行きたいけどなかなか行けない地域 | 50代 | 男性 |
| 関東からは遠くに感じるので足が向かない | 60代 | 男性 |
| 関東地方から行きにくい感じがする。明るいイメージがない。 | 50代 | 女性 |
| 都心からの交通が不便 | 30代 | 女性 |

<その他の良いイメージ> 17件

| | | |
|--|-----|----|
| 観光地が多い | 60代 | 女性 |
| 観光地が沢山ある | 60代 | 女性 |
| 観光地にしては混雑が無くゆっくり出来る | 60代 | 男性 |
| 出雲大社、河豚 | 40代 | 女性 |
| みかんがおいしい | 30代 | 女性 |
| 温暖な気候で自然が多い | 60代 | 女性 |
| 関東にはない自然と歴史 | 60代 | 男性 |
| 食べ物がおいしい | 30代 | 女性 |
| 静観出来る、心が落ち着く場所 | 60代 | 女性 |
| 暖かい | 40代 | 男性 |
| 中世、近世、近代の繁栄 | 40代 | 女性 |
| 風光明媚 | 40代 | 女性 |
| 文化、歴史を探訪することができる | 50代 | 男性 |
| 文化と自然の調和 | 70代 | 男性 |
| 歴史、文化、自然 | 70代 | 男性 |
| 歴史・文化の街と自然がうまく調和しているところ | 50代 | 男性 |
| 今の仕事で休みがほぼ取れないから1泊2日では厳しい、もっとゆっくりいろいろなどところを見たい | 50代 | 男性 |

<その他のあまり良くないイメージ> 10件

| | | |
|-----------------------------------|-----|----|
| あまり目立たない感じ | 50代 | 女性 |
| やや目立たない | 30代 | 女性 |
| 暗い | 50代 | 男性 |
| 暗い | 50代 | 男性 |
| 暗い | 60代 | 男性 |
| 印象が薄い | 30代 | 女性 |
| 交通機関があまり充実していないので、移動が面倒そうなイメージがある | 50代 | 女性 |
| 情報が少ない | 40代 | 男性 |
| 地味、観光名所がよくわからない | 40代 | 男性 |
| 特に何も無いイメージ | 20代 | 女性 |

9) 中国地方の特産品

中国地方の特産品について思い付くものを3つまで記載して頂いたところ、牡蠣、お好み焼き、フグ、もみじ饅頭が20件以上と多くなっている。

| | | | |
|--------|----|-------|---|
| カキ(牡蠣) | 31 | もも(桃) | 7 |
| お好み焼き | 28 | 梨 | 5 |
| フグ(河豚) | 27 | しじみ | 5 |
| もみじ饅頭 | 24 | あなご飯 | 5 |
| きびだんご | 12 | のどぐろ | 3 |
| そば | 11 | ままかり | 3 |
| カニ(蟹) | 8 | | |

| | | |
|--|--|--|
| その他の回答 | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・尾道ラーメン ・魚 ・レモン ・みかん ・らっきょう ・祭り寿司 ・岡山の果物 ・源氏巻 ・あご焼 | <ul style="list-style-type: none"> ・マスカット ・ブリ ・酒 ・打吹公園団子 ・松江の和菓子 ・宍道湖の七珍 ・出雲うどん ・鯖 ・関さば | <ul style="list-style-type: none"> ・もんじゃ焼き ・岡山蒜山焼きそば ・どじょう掬いのお菓子 ・萩焼 ・備前焼 ・金魚ちょうちん ・うず潮 ・熊野筆 ・石州瓦 |

※「その他の回答」は回答があったものを記載しており、中国地方の特産品以外を含む

| | |
|----------------------|----|
| (参考:首都圏調査結果(平成24年度)) | |
| 牡蠣 | 24 |
| もみじ饅頭 | 19 |
| ふぐ | 15 |
| お好み焼き(広島焼き) | 15 |
| きび団子 | 11 |
| 桃 | 10 |
| マスカット・ぶどう | 8 |
| 梨(二十世紀梨、鳥取の梨) | 4 |

10) 周遊ルート

中国地方を旅行する場合、周遊したいと思われるルートについて自由記述をしてもらったものを、起点となる県別に整理した。島根県を起点するルートを回答した人が15件と最も多いが、そのほとんどが2県以内を巡るという回答であった。鳥取、広島、山口を基点とする場合は、2～3県程度を周遊するという回答が多くなっている。

| 起点 | ルート | 自由記述内容 | 居住地 |
|--|--------------|--|-------------|
| 鳥取起点 12 全県-2 4県-1 3県-5 2県-3 1県-1 | 中国5県周遊 | 鳥取→松江→出雲→大田→萩→下関→岩国→広島→矢掛→高梁→岡山 | 神奈川県 |
| | | 鳥取→出雲→萩→下関→広島→倉敷 | 千葉県 |
| | 鳥取→島根→山口→広島 | 鳥取砂丘→出雲→萩→下関→広島→しまなみ海道 | 東京都 |
| | | 鳥取→島根→広島 | 鳥取→松江→出雲→広島 |
| | 鳥取砂丘→出雲大社→広島 | | 神奈川県 |
| | 鳥取砂丘→出雲大社→尾道 | | 神奈川県 |
| | 鳥取→島根→山口 | 鳥取→松江→山口 | 東京都 |
| | | 鳥取→松江→下関 | 千葉県 |
| | 鳥取→島根 | 米子→出雲 | 東京都 |
| | 鳥取→島根 | 鳥取空港→鳥取砂丘→浦富海岸→鳥取市→白兔海岸→倉吉→大山→境港→皆生温泉→松江→宍道湖→出雲大社→玉造温泉 | 東京都 |
| | 鳥取→岡山 | 鳥取から岡山の備前まで行きたい | 神奈川県 |
| | 鳥取県内 | 鳥取市→境港 | 神奈川県 |
| 島根起点 15 全県-0 4県-1 3県-0 2県-9 1県-5 | 島根→山口→広島→岡山 | 出雲→石見→萩→秋芳洞→下関→岩国→広島→宮島→倉敷 | 東京都 |
| | 島根→鳥取 | 出雲→鳥取 | 神奈川県 |
| | | 出雲大社→鳥取砂丘 | 千葉県 |
| | | 松江・玉造温泉→鳥取 | 東京都 |
| | 島根→山口 | 出雲→山口→(賢島) | 東京都 |
| | | 出雲→隠岐→萩 | 埼玉県 |
| | | 出雲→萩 | 東京都 |
| | | 出雲→萩 | 千葉県 |
| | | 出雲→萩・津和野→下関 | 東京都 |
| | | 松江→出雲→萩 | 東京都 |
| | 島根県内 | 石見銀山→隠岐→奥出雲 | 埼玉県 |
| | | 玉造→出雲 | 埼玉県 |
| | | 宍道湖でシジミ料理を堪能する→出雲大社から伯耆地方を神話の道訪ねたい→足立美術館を訪問 | 神奈川県 |
| | | (姫島)→(博多)→島根 | 千葉県 |
| | | (兵庫)→島根 | 東京都 |
| 岡山起点 5 全県-1 4県-1 3県-2 2県-1 1県-0 | 中国5県周遊 | (神戸)→(徳島)→(坂出)→倉敷→広島→山口→出雲→鳥取 | 神奈川県 |
| | 岡山→広島→島根→鳥取 | 岡山→広島→益田→出雲→松江→鳥取 | 千葉県 |
| | 岡山→広島→島根 | 岡山→広島→島根 | 千葉県 |
| | 岡山→広島→山口 | 倉敷→広島→下関 | 東京都 |
| | 岡山→広島 | 瀬戸大橋・しまなみ海道 | 千葉県 |

| 起点 | ルート | 自由記述内容 | 居住地 |
|--|----------|--|------|
| 広島起点 12 全県-0 4県-0 3県-5 2県-6 1県-1 | 広島→鳥取→島根 | 広島→尾道→しまなみ海道→(松山) →山陽→山陰のローカル線めぐり | 東京都 |
| | 広島→島根→山口 | 広島→松江→萩市→山口 | 神奈川県 |
| | 広島→山口→島根 | 呉→江田島市→岩国→萩→浜田→邑智 | 神奈川県 |
| | | 広島→宮島→岩国→萩→浜田→松江→出雲 | 東京都 |
| | 広島→島根 | 広島→秋吉台→出雲 | 千葉県 |
| | 広島→島根 | 宮島→出雲 | 東京都 |
| | 広島→岡山 | 広島→宮島→岡山→倉敷 | 東京都 |
| | | 広島→尾道→倉敷 | 東京都 |
| | | 尾道→倉敷 | 神奈川県 |
| | 広島→山口 | 広島→下関 | 神奈川県 |
| | | 広島→山口 | 埼玉県 |
| | 広島県内 | (羽田)→広島空港 | 千葉県 |
| 山口起点 13 全県-0 4県-0 3県-5 2県-5 1県-3 | 山口→島根→鳥取 | 萩→津和野→出雲大社→鳥取砂丘 | 千葉県 |
| | 山口→島根→広島 | 萩→津和野→岩国→宮島 | 神奈川県 |
| | 山口→広島→鳥取 | 山口→宮島→鳥取砂丘 | 神奈川県 |
| | 山口→広島→岡山 | 下関→宮島→呉→岡山 | 東京都 |
| | | 萩→宮島→広島→倉敷 | 東京都 |
| | 山口→島根 | 宇部→下関→萩→出雲 | 神奈川県 |
| | | 萩→出雲→松江 | 東京都 |
| | 山口→広島 | 宇部山口空港→秋吉台・秋芳洞→萩→長門 →角島→下関市・門司→山口市→岩国→宮 島→広島市→広島空港 | 東京都 |
| | 山口→広島 | 萩→秋吉台→宮島→広島 | 埼玉県 |
| | 山口→広島 | (博多)→下関→宮島 | 千葉県 |
| | 山口県内 | 下関→(博多)→(大分) | 東京都 |
| | | 萩→秋吉台 | 東京都 |
| (博多)→下関→萩 | | 埼玉県 | |

3. まとめ

(1) 前回との特徴比較

| | 首都圏在住者 | | 首都圏在住者 (H24 年度調査) | |
|---------------|--|-------|--|-------|
| 訪問したところのある観光地 | ①行ったことはない | 37.0% | ①行ったことはない | 31.2% |
| | ②広島 | 29.0% | ②広島 | 26.4% |
| | ③宮島 | 21.5% | ③宮島 | 20.0% |
| | ④鳥取 | 17.5% | ④倉敷 | 19.2% |
| | ⑤倉敷 | 15.5% | ⑤出雲 | 13.6% |
| 訪問したところのある県 | ①広島県 | 34.3% | ①広島県 | 27.3% |
| | ②岡山県 | 19.8% | ②島根県 | 25.1% |
| 未訪問理由 | ①きっかけがない | 73.0% | ①きっかけがない | 71.8% |
| | ②遠い | 60.8% | ②遠い | 53.8% |
| | ③時間が無い | 17.6% | ③旅費が高い | 20.5% |
| 満足度 | 全体 | 69.6% | 全体 | 62.8% |
| 満足度理由 | ①歴史・文化 | 42.2% | ①歴史・文化 | 47.3% |
| | ②観光施設 | 38.6% | ②自然景観 | 41.5% |
| | ③自然景観 | 38.0% | ③雰囲気 | 30.9% |
| 行ってみたい観光地 | ①出雲 | 36.0% | ①鳥取 | 32.0% |
| | ②鳥取 | 25.5% | ①出雲 | 32.0% |
| | ③行ってみたいところはない | 19.0% | ③行ってみたいところはない | 18.4% |
| | ④宮島 | 14.0% | ④広島 | 16.8% |
| | ⑤倉敷 | 13.5% | ⑤宮島 | 16.0% |
| 旅行予定日数 | ①2泊3日 | 55.6% | ①2泊3日 | 50.0% |
| | ②3泊以上 | 28.4% | ②3泊以上 | 38.2% |
| 特産品イメージ | ①牡蠣 | 31人 | ①牡蠣 | 24人 |
| | ②お好み焼き | 28人 | ②もみじ饅頭 | 19人 |
| | ③ふぐ | 27人 | ③ふぐ | 15人 |
| | ④もみじ饅頭 | 24人 | ③お好み焼き | 15人 |
| | ⑤そば | 11人 | ⑤きび団子 | 11人 |
| 傾向・特徴 | <ul style="list-style-type: none"> ・2泊3日以上の日程で広島、岡山、鳥取を中心に周遊 ・歴史・文化により重きを置いて評価 ・未訪問理由として時間が無いが2割弱 | | <ul style="list-style-type: none"> ・2泊3日以上の日程で島根、広島を中心に中国地方を満遍なく周遊 ・歴史・文化により重きを置いて評価 ・未訪問理由として旅費が高いが2割強 | |

(2) 首都圏在住者の訪問経験・訪問希望からみる今後の誘客の方向性

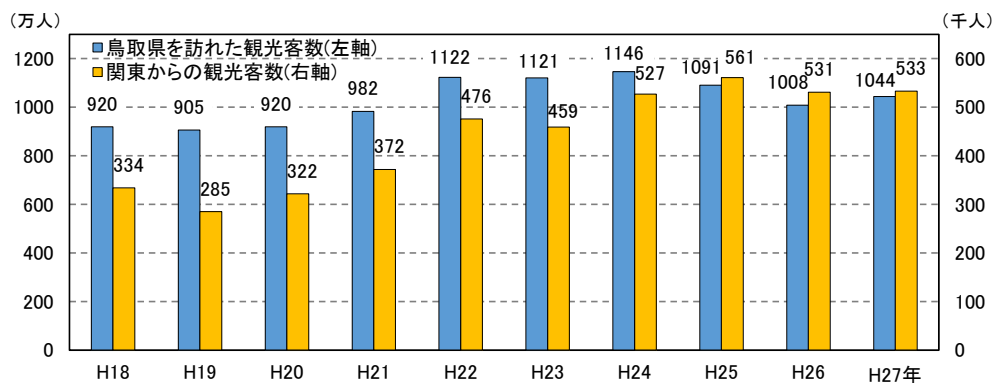
○訪問経験率・希望率の高い山陰における周遊観光ルートの形成

中国地方への訪問経験率では、山陽の広島県・岡山県に次いで鳥取県が高くなっており、特に鳥取地域は平成 28 年 10 月 21 日に鳥取県中部地震があったものの、前回と比較して急増している。鳥取県の観光統計（下図）をみると、関東から鳥取県への観光客数は増加傾向にあり、鳥取県観光連盟の首都圏担当観光プロモーターの設置による首都圏向け観光プロモーション等の成果が表れているものと考えられる。

また、中国地方への訪問希望率を観光エリアごとに見ると、4 県全てで「出雲」と回答した人が 3～4 割であった。また、周遊したいルートに関する自由記述をみると、島根県を起点とする回答 15 件のうち、12 件は出雲を含むものであった。これらは、平成 28 年 3 月にほぼ完了した出雲大社の「平成の大遷宮」の影響があると考えられ、今後も実際に訪問する観光客の増加（訪問経験率の上昇）が期待される。

これらのことから、首都圏在住者を中国地方に誘客するためには、訪問経験率、訪問希望率の高い鳥取県、島根県両県をまたぐ山陰の周遊観光ルートを PR し、誘客施策を展開することが効果的であると思われる。

鳥取県を訪れる観光入込客数（実人数）の推移



(資料) 鳥取県平成 27 年観光客入込動態調査結果

○自家用車で訪れる来訪者に向けた周遊方策の展開

首都圏から中国地方を訪れた際の交通手段としては新幹線（電車）が最も多く挙げられており、特に山陽新幹線沿いである岡山県、広島県、山口県での利用割合が高い。また、鳥取県や島根県では飛行機利用も多くなっており、新幹線、飛行機を利用した後の 2 次交通の充実による周遊行動の誘発が必要である。

また、自家用車利用の割合は全体の 24% となっており、岡山県、山口県では新幹線（電車）に次いで 2 位、鳥取県では飛行機に次いで 2 位となっているなど、遠距離移動ではあるが自家用車利用も少なくない。2 次交通としてレンタカー利用も考えられることから、中国地方内高速道路のフリーパス（3 日間程度）や道の駅、キャンプ場、温泉施設等が掲載された周遊マップの配布等、自家用車やレンタカー利用者をターゲットとした周遊施策の展開が求められる。

○2～3県、2泊3日の周遊ルート形成

中国地方を旅行する場合の日数・費用については、2泊3日、4～5万円とする人が最も多くなっており、前回調査と比較して、日数は若干短く、費用は若干高くなっている。中国地方の希望周遊ルートをもっても、2～3県の周遊ルートが最も多くなっていることから、1度の旅行で中国地方の全域を周遊するのではなく、山陽や山陰、岡山・鳥取、広島・山口等、2～3県を巡る2泊3日の周遊ルートを形成することが必要である。目的地を絞った滞在型のルート形成により、各地域における消費額増加に繋げる視点が求められる。

(3) 首都圏在住者のニーズ等からみる今後のプロモーションの方向性

○旅行する「きっかけ」に繋がる効果的な情報発信

中国地方に行ったことがない理由としては、「きっかけがない」や「遠い」という消極的な意見が6割以上であった。また、「時間がない」が2割弱、「情報が少ない」「話題にならない」も1割以上あり、首都圏のテレビ・ラジオ・新聞・雑誌などのメディアにおける露出が少ないものと思われる。外国の要人訪問等の全国ニュースとなる素材や、「聖地巡礼」「カープ女子」「ポケモンGO」等の全国的に流行しているキーワードを活用し、首都圏メディアに向けて様々な形で、臨機応変に素材を提供し、露出を増やすことが必要である。

○中国地方のイメージを活かしたPR

中国地方を訪れた観光客の満足度を高めている要素として、「歴史・文化」「観光施設」「自然景観」がそれぞれ4割程度を占めた。また、中国地方のイメージに関する自由記述では、自然が豊か、海と山のコントラストといった自然景観のイメージが最も多く、次いで穏やか・田舎といった素朴なイメージや、山陽と山陰で異なるイメージなどが挙げられた。首都圏からの誘客促進に向け、「自然」の中での癒しや温泉でのくつろぎを求める志向がある観光客をターゲットとして、自然体験型メニューを盛り込んだ観光商品の提案等、中国地方のイメージを活かしたPRを行うことが求められる。

○山陽・山陰それぞれの「食」のイメージ形成

中国地方の特産品に関する自由記述では、前回同様「牡蠣」と回答した人が最も多くなっている。また、「お好み焼き」や「そば」といった回答も多くみられた（「そば」は出雲そば、岩国の瓦そば、安来のそばなどの記述があった）。また、山陰の「蟹・のどぐろ・しじみ」といった回答もそれぞれ5～8件あり、山陰の食資源に対する認知度はあがってきていると思われ、訪問希望率が高い山陰において、広域周遊ルート形成にこれらの豊富な食資源の魅力を同時にPRすることで、相乗効果が期待できる。